

「自死予防」に関するインターネットアンケート
調査結果

1	調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	回答者について・・・・・・・・・・	2～3
3	アンケート調査結果・・・・・・・・	4～11

平成30年12月
鳥取市健康こども部中央保健センター

1 調査の概要

(1) 調査の目的

こころの健康や鳥取市の自死対策の取り組みについての市民の意識を把握し、自死対策推進計画策定に当たっての参考資料とすることを目的とする。

(2) 調査方法

① 調査対象

平成30年度鳥取市インターネットモニター 50人

② 調査方法

インターネットを利用して送信

(3) 調査期間

平成30年11月12日(月)から11月21日(水)まで

(4) 回答者数

40人(80%)

(5) 調査結果の数値について

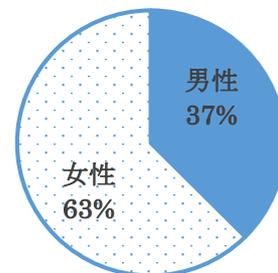
百分率(%)は回答数を100%として算出し、小数点を四捨五入してある。
したがって、図表およびグラフの合計が100%とならない場合がある。

2 回答者について

○ 性別

(単位：人)

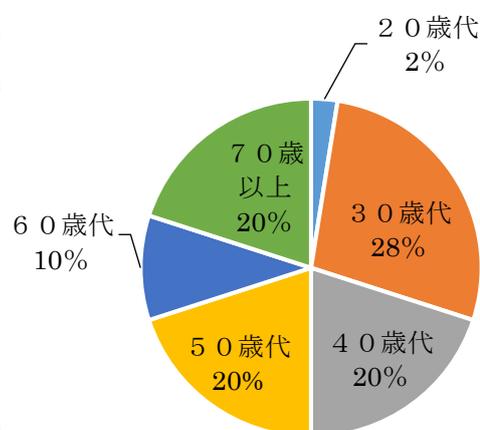
区分	回答数	回答割合
男性	15	37.5%
女性	25	62.5%
合計	40	100.0%



○ 年齢

(単位：人)

区分	回答数	回答割合
10代	0	0%
20代	1	2.5%
30代	11	27.5%
40代	8	20.0%
50代	8	20.0%
60代	4	10.0%
70代以上	8	20.0%
合計	40	100.0%



○ 住まいのエリア

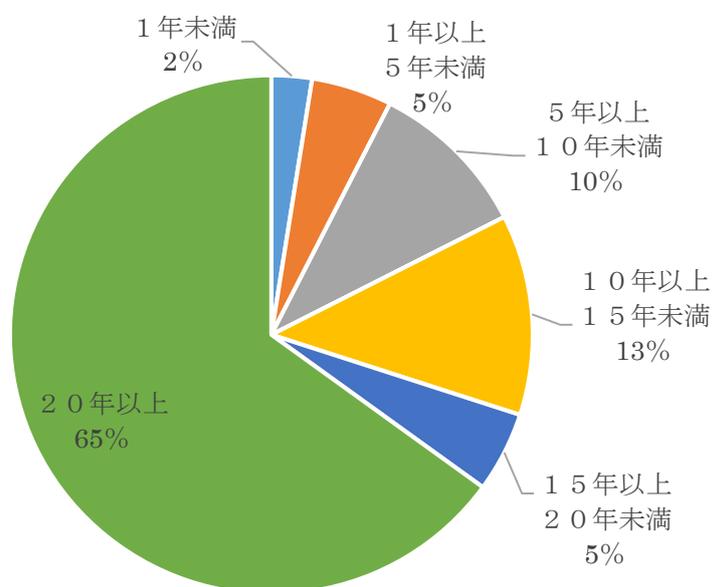
(単位：人)

区分	回答数	回答割合
鳥取地域	39	97.5%
国府地域	0	0%
福部地域	0	0%
河原地域	1	2.5%
用瀬地域	0	0%
佐治地域	0	0%
気高地域	0	0%
鹿野地域	0	0%
青谷地域	0	0%
合計	40	100.0%

○ お住まいのエリアの居住年数

(単位：人)

区分	回答数	回答割合
1年未満	1	2.5%
1年以上5年未満	2	5%
5年以上10年未満	4	10%
10年以上15年未満	5	12.5%
15年以上20年未満	2	5%
20年以上	26	65%
合計	40	100.0%



3 アンケート調査結果

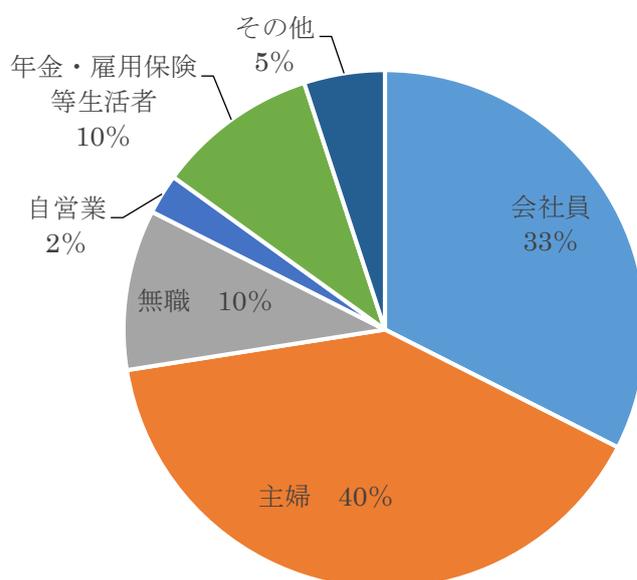
(1) 職業について

(単位：人)

選択肢	回答数	(男)	(女)	回答割合
会社員	13	6	7	32.5%
主婦	16	0	16	40%
無職	4	4	0	10%
学生	0	0	0	0%
自営業	1	1	0	2.5%
年金・雇用保険 等生活者	4	4	0	10%
その他	2	0	2	5%
合計	40	(15)	(25)	100.0%

その他

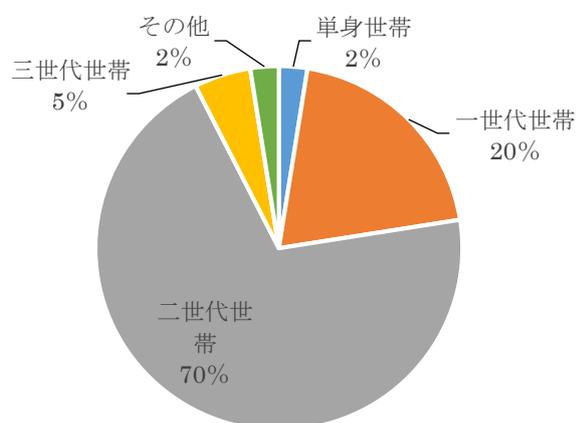
- ・パート
- ・アルバイト



(2) 世帯構成について

(単位：人)

選択肢	回答数	回答割合
単身世帯	1	2.5%
一世代世帯（夫婦のみ）	8	20%
二世代会世帯（親と子）	28	70%
三世代会世帯（祖父母と親子）	2	5%
四世代世帯	0	0%
その他（無回答含む）	1	2.5%
合計	40	100.0%

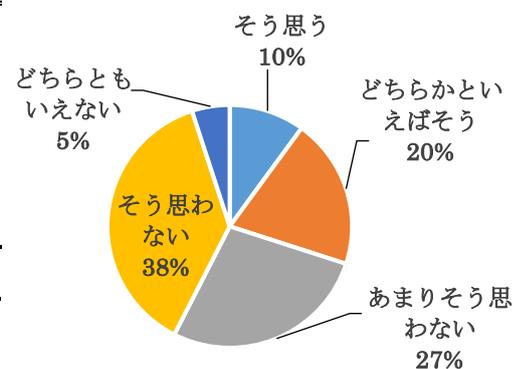


(3) 自死について

自死は自分自身に関わる問題だと思いますか。あなたの考えに一番近いものを選んでください。

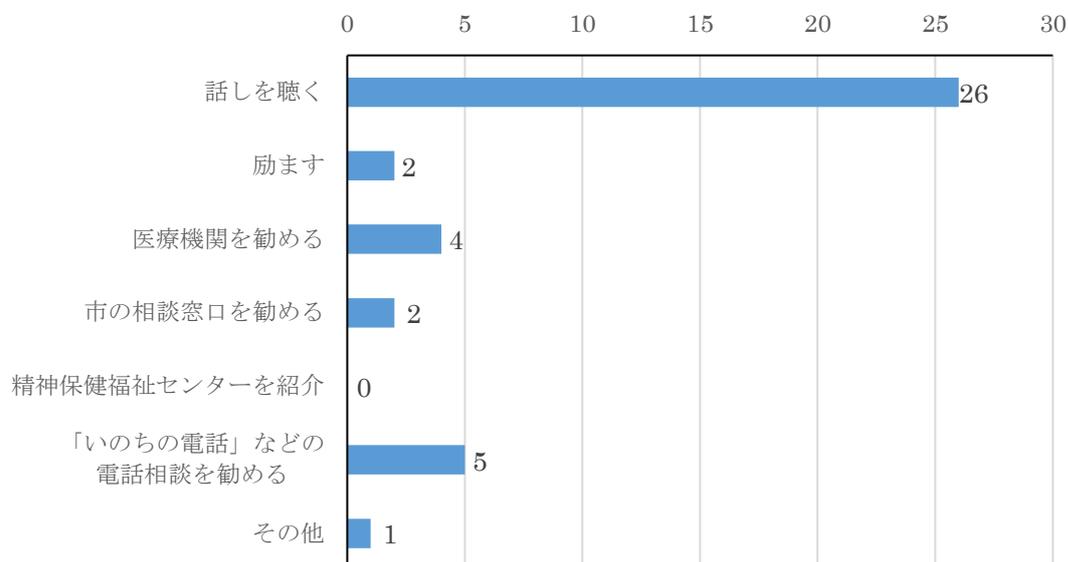
(単位：人)

選択肢	回答数	回答割合
そう思う	4	10%
どちらかといえばそう思う	8	20%
あまりそう思わない	11	27.5%
そう思わない	15	37.5%
その他	2	5%
合計	40	100.0%



(4) こころの悩みの相談について

周りの人にこころの悩みを相談されたり、自死の予兆（サイン）を感じた時、あなたならどのように対応しますか。



その他

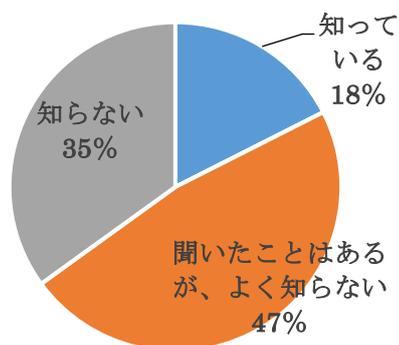
- ・まず話を聴いてみて、医療機関、または市の相談窓口を勧めるか、私の援助でどうにかなるかを判断します。

(5) こころの相談窓口について

行政に「こころの相談窓口」があることをご存知ですか。

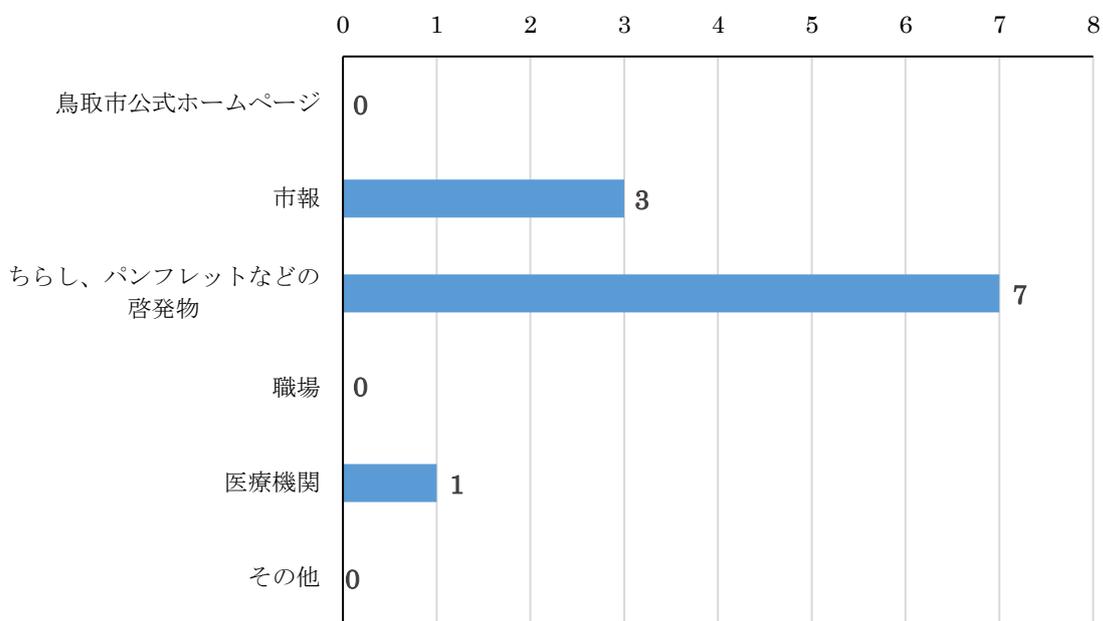
(単位：人)

選択肢	回答数	回答割合
知っている	7	17.5%
聞いたことはあるが、よく知らない	19	47.5%
知らない	14	35%
合計	40	100.0%



(6) こころの相談窓口について

(5) で「知っている」とお答えいただいた方にお尋ねします。どのような方法で知りましたか。該当する項目すべてにチェックをつけてください。

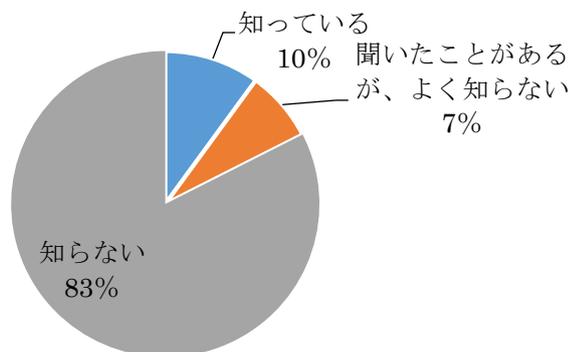


(7) こころの体温計について

本市では、WEB上でこころの状態について知ることのできる「こころの体温計」を行っています。ご存知ですか。

(単位：人)

選択肢	回答数	回答割合
知っている	4	10%
聞いたことがあるが、よく知らない	3	7.5%
知らない	33	82.5%
合計	40	100.0%

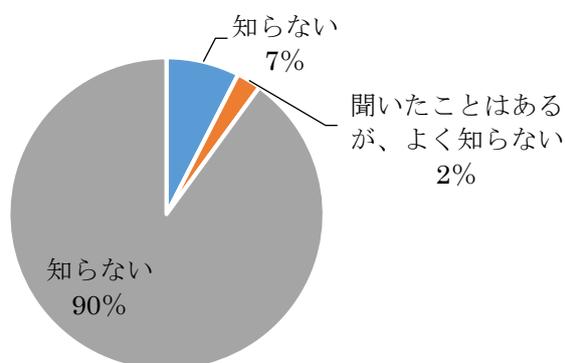


(8) ゲートキーパーについて

ゲートキーパーを知っていますか。

(単位：人)

選択肢	回答数	回答割合
知っている	3	7.5%
聞いたことがあるが、よく知らない	1	2.5%
知らない	36	90%
合計	40	100.0%



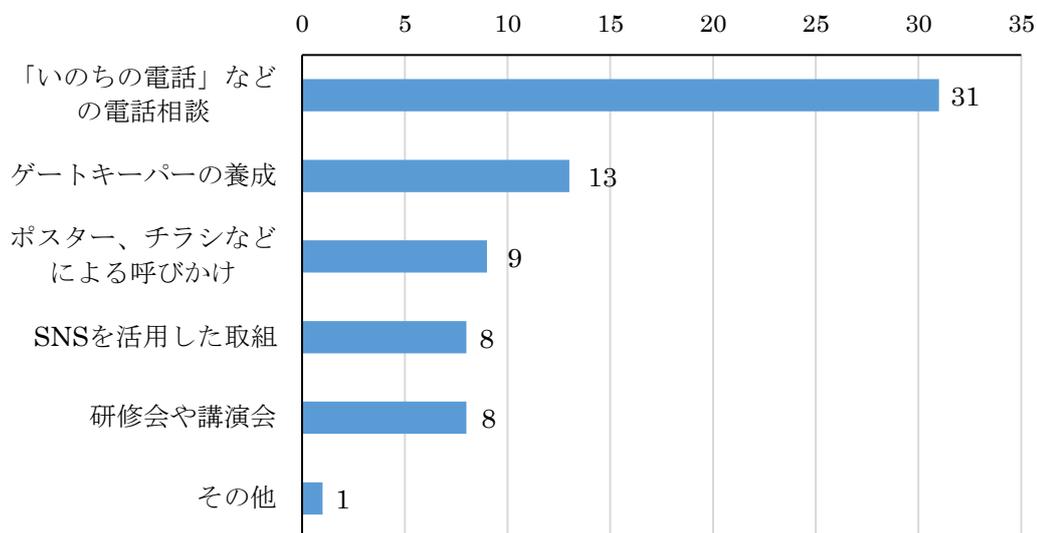
(9) ゲートキーパーについて

「知っている」とお答えいただいた方にお尋ねします。どのような方法で知りましたか。該当する項目すべてにチェックをつけてください。

選択肢	回答数
テレビ	1
新聞	1
市報	1
鳥取市公式ホームページ	1
その他のホームページ	0
職場	1
その他	0
合計	5

(10) 自死予防の取組について

自死予防の取組として、効果的だと思うものは何ですか。該当する項目すべてにチェックをつけてください。

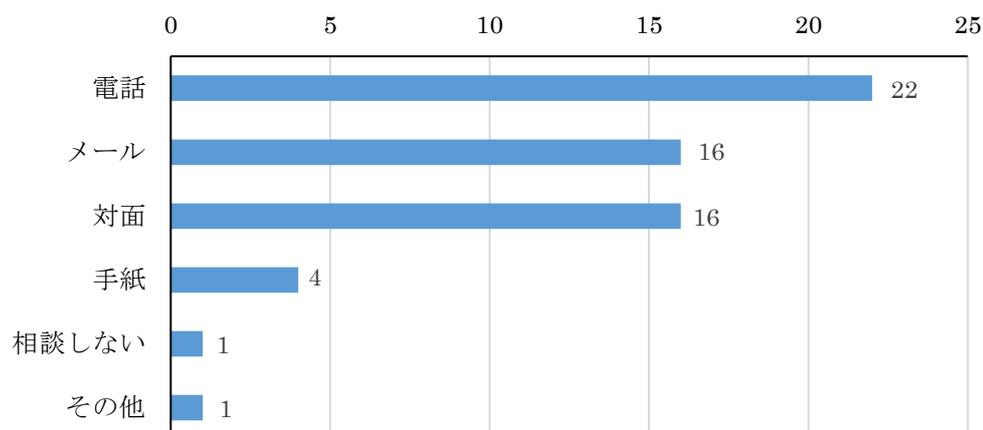


その他

- ・「いのちの電話」に助けを求めようになる前段階にあたる「悩み相談」の機関（電話相談、メール相談等）が必要だと思う。深刻な状態になる前に、悩みを解決しておくことが大事だと思う。

(11) 相談方法について

あなたが悩みを抱えた時、相談しやすい方法はどれですか。該当する項目すべてにチェックをつけてください。



その他

- ・直面した当時の悩みの軽重により相談方法が違うと思う。

(12) 相談方法について

(11)で「相談しない」とお答えいただいた方にお尋ねします。理由のうち該当する項目すべてにチェックをつけてください。

(単位：人)

選択肢	回答数
その他	1

その他

- ・相談しても結局決めるのは自分だから、相談する意味がない。

(13) 鳥取市の自死対策について、ご意見やご提案（自由回答・記述式）

内 容
子どもの SOS を拾える仕組みを作ってほしい。
自死に至るには、何らかの原因が必ずあり、その原因を究明し、研修会や講演会などをはじめ事例としてひろく啓発活動を行って対策を広めていく。
どちらにしろ、予防できるのであればしたい。
市報やチラシなどで相談方法や場所を繰り返し知らせることが対策として効果的だと思う。
もっと気軽に、つまり精神科病院に行きやすいような環境を作ることも大事かと思います。アメリカでは、些細な悩み事でもカウンセリングを受けるような習慣があるそうです。「精神科病院」となると強い抵抗感を感じてしまうのが日本の現状だと思うのですが、内科や歯科に行くような感覚で精神科にも行けるようになると、助かる命も増えると思います。医師だけではなく、ソーシャルワーカーさんなんかもいらっしやいますし。
市の対策について気にしたことはありませんでした。自分が当事者になったうえで市報やホームページを確認してみないことには何とも意見できません。
いろいろな理由により自死を考える方があり、なかなか対策も難しいと思いますが気軽に相談できる場所があるといいなと思います。
行政も真剣に対処されていることを PR!
はじめは対面しない方が、相談しやすい。何度か相談しているうちに、実際に会うのがよいのかとも思う。
特別な対策はないのでは。行政のやる気なんていうことにもならないし。仕組みはあるはずだが周知とかオープンとか継続して見守ることができる人とか課題は多々ありそう。
ゲートキーパーとかは知らなかったのもっと PR してほしい。
地区の民生委員がまず早期に情報を把握して、行政機関（精神保健福祉センターなど）に連絡し対面指導、説得を試みる必要があると思います。

知らないことも多々あったので、自分は大丈夫だからと思い込まず、周りの助けになることもあるので調べてみたい。また、自分だけかもしれないが、そのような取組が知られていないこともあるので、周知を図ることも必要だと思う。

人の目に付きやすい街中のポスターなどに、相談窓口や「いのちの電話」の電話番号を目立つように書いたりするといいと思います。このアンケートに答えるまでゲートキーパーという言葉も知らなかったなので、まずは情報の共有が大事なのかなと思います。

どこに窓口があるのか分からない。